

～ 習い事ランキング／費用に関するアンケート結果～

『ケイコとマナブ』2017年 子どもの習い事ランキング

- 「今、習っている習い事」トップ3は「水泳」「英語・英会話」「ピアノ」。地域的な特徴が存在。
- 「今後、習わせたい習い事」には、「英語・英会話」をはじめ、「書道」、「学習塾・幼児教室」、高学年を中心とした「パソコン関連」など、「今、習っている習い事」と比べ学習系の習い事が上位に。
- 習い事費用は4割以上が昨年より増加。財源ねん出はママ小遣いや被服費・美容費などママの我慢から。

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山口 文洋）が企画・運営する講座・レッスンの資料請求・予約ができる『ケイコとマナブ.net』は、全国で小学生以下の子どもを習い事に通わせている927人を対象に「子どもの習い事」についてのアンケートを実施しましたので、その結果をご報告いたします。

なお、アンケートの結果は『ケイコとマナブ.net』でも紹介いたします。

『ケイコとマナブ.net』はこちら：<https://www.keikotomanabu.net/news/entry/20171002/kodomoranking17>

結果の要約

●2017年 子どもの習い事ランキング

…P.3-6

<今、習っている習い事ランキング>

第1位	水泳	40.8%
第2位	英語・英会話	27.7%
第3位	ピアノ	20.3%

<今後、習わせたい習い事ランキング>

第1位	英語・英会話	24.9%
第2位	水泳	19.1%
第3位	書道	14.3%

【今、習っている習い事ランキング】

1位は「水泳」で、回答率は4割を超える。きっかけとして、「心肺機能の強化」「体力づくり」といった項目のほか「小学校で熱心に教えてくれない」などの理由が挙げられている。

◆子どもの年齢帯別

未就学児では3位に「体操」、5位に「リトミック」がランクイン。小学校低学年・高学年では「書道」「学習塾・幼児教室」「そろばん」といった学習系の習い事が上がってくる。

◆エリア別

1位は全エリアとも「水泳」だが、北海道・東北エリアでは全国に比べ回答率が低い。ほか、首都圏で「そろばん」がベストテン圏外、九州・沖縄は2位に「書道」が入るなど、地域的な特徴が存在している。

【今後、習わせたい習い事ランキング】

1位は「英語・英会話」。ほか、「書道」（3位）、「学習塾・幼児教室」（4位）、「そろばん」（5位）、「パソコン関連」（11位）、「実験教室」（14位）など学習系の習い事が上位に。特に「パソコン関連」は小学校高学年では4位にランクインした。

●4割以上が「昨年より習い事費用は増加」、高学年になるにつれて負担感が増す傾向。

…P.7-8

財源は外食費のほかお小遣い・被服費・美容費など「ママの我慢」で捻出。

習い事費用については、4割以上の家庭が「昨年より増加」と答え、「昨年より減少」は5%未満。子ども1人当たり月々の費用は平均1万3091円だが、実際にはこれに加え、用具や衣装、検定料や発表会の参加費用などさまざまな不定期の費用がかかっている。高学年になるにつれて習い事費用は増加し、それを反映して家計の負担感も増していく結果となった。これらの費用は、外食費のほか、ママお小遣い、被服費、美容費といった「ママの我慢」によって賄われている様子も明らかになった。

【本件に関するお問い合わせ先】

http://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

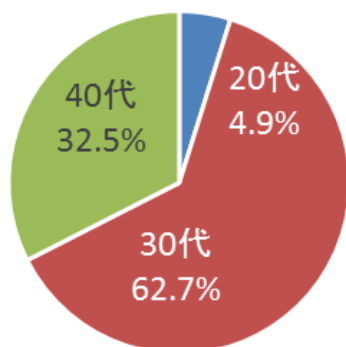
調査概要と回答者プロフィール

【2017年 調査概要】

- 調査名 : 『ケイコとマナブ』 2017年 子どもの習い事アンケート
- 調査目的 : 小学生以下の子どもにおける習い事の人気ランキングとその理由、費用やその負担感など実態を把握し、スクール・教育関係各位の参考とする
- 調査方法 : インターネットによる調査
- 調査対象 : 習い事をしている小学生以下の第一子を持つ全国の女性（株式会社マクロミルの登録モニター）
※習い事とは通信教育ではなく教室に通うもの。ボランティアなど無償のものは除く
- 有効回答数 : 927人（未就学児の母：309人、小学校低学年の母：309人、小学校高学年の母：309人）
※2016年：927人（未就学児の母：309人、小学校低学年の母：309人、小学校高学年の母：309人）
※2015年・14年：618人（未就学児の母：206人、小学校低学年の母：206人、小学校高学年の母：206人）
※2014～2016年は首都圏1都3県（東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県）在住者
- 調査時期 : 2017年9月8日(金)～2017年9月11日(月)

【回答者プロフィール】

■ 回答者の年齢（単一回答）



■ 居住地（単一回答）

回答者の居住地（人）	居住地（単一回答）			合計
	第一子が未就学児	第一子が小学校低学年	第一子が小学校高学年	
北海道・東北	21	19	24	64
北関東・甲信越	19	19	20	58
首都圏	106	91	107	304
東海・北陸	57	59	54	170
関西圏	54	63	56	173
中国・四国	24	16	25	65
九州・沖縄	28	42	23	93
合計	309	309	309	927

【調査対象の学び事・習い事一覧】

英語・英会話	ピアノ
水泳	エレクトーン
ダンス	バイオリン
フラダンス	ボーカルレッスン
リトミック	その他楽器
体操	絵画
新体操	料理
バレエ	そろばん
サッカー	書道
バスケット・ミニバス	パソコン関連（ソフトの使い方やプログラミングなど）
野球	ロボット
テニス	学習塾・幼児教室
空手	実験教室
剣道	その他
その他スポーツ	特になし

※「パソコン関連（ソフトの使い方やプログラミングなど）」については、以下の本文・図表内では「パソコン関連（※）」と表記

【今、習っている習い事】は「水泳」がトップ。

続いて、「英語・英会話」「ピアノ」「書道」が上位にランクイン。

人気を集めたのは、上位から「水泳」「英語・英会話」「ピアノ」「書道」。

「水泳」は習い事をしている子どもの4割以上が習っていると回答。「始めたきっかけ」では、「喘息の対策」「体づくり」など体力強化の理由に加え、「小学校で熱心に教えてくれない」という理由を挙げた人も多く見られた。地域によりプールのない学校が多かったり、授業時間が少ないことがあるためと思われる。

2位の「英語・英会話」では、将来の必要性や小学校での必須化に備えるためといった理由のほか、海外経験や身近な外国人の存在により自然に興味を持ったという回答も目立った。

3位は「ピアノ」。「始めたきっかけ」では情操・音感面の理由のほか、「親の希望」と直接的に述べる声も。幼児期のリトミックからの延長で自然に始めた、という経緯を挙げた人も多かった。

【全体】【今、習っている習い事ランキング】 (複数回答)

順位	今、習っている習い事	回答率(%)
1位	水泳	40.8
2位	英語・英会話	27.7
3位	ピアノ	20.3
4位	書道	14.1
5位	学習塾・幼児教室	13.5
6位	体操	12.8
7位	サッカー	8.6
8位	そろばん	7.1
9位	その他スポーツ	5.1
10位	ダンス	4.3
10位	空手	4.3
12位	リトミック	3.7
13位	バレエ	3.5
14位	テニス	2.7
15位	絵画	2.5

N=927

【その習い事をやらせたいと思ったきっかけ・理由】

(フリーアンサーに記入されたコメントより抽出)

1位 水泳

赤ちゃんの頃から水を一切怖がらず、プールや海が大好きなので
小学校では泳ぎは教えてくれないと聞いたので
学校の授業だけでは息継ぎがマスターできなかったから
身体全体を使うので、発達に良いと思ったから
小さい頃喘息があったので呼吸器機能を強化するため
気管支が弱かったので、少しでも鍛えられるとよいと思って
顔に水がかかることさえ嫌がっていたので克服してほしかった

2位 英語・英会話

これから社会で活躍するのに必須だと思ったから
小学校でも必須科目になったこと、将来的に役に立つはず
将来、受験に備えて
英語は、早いうちに耳できいたりして覚えるといいと思ったから
お友達にアメリカ人の子がいて自然と英語に興味を持ったので
海外に住んでいたため、英語力をキープするため
外国人の先生でとても楽しい授業だったので

3位 ピアノ

生活に音楽があると楽しくなると親が思っているから
自分が習っていたので、子どもも将来ピアノが弾ければと思いました
親と一緒に弾かせたかった
弾けると素敵と思って
音感を鍛えるため
コツコツ努力することを覚えてほしくて
リトミックの時から音の違いが分かるのが早かった

4位 書道

字が綺麗というだけで、人はおっ！と思う
字を丁寧に書く習慣を付けさせたかった
集中力を高めてもらいたいの
姿勢がよくなってほしいから
左利きなので毛筆を覚えてもらうため
鉛筆をなかなか正しく持たないので、半ばペナルティーのように始めさせた

2017年 子どもの習い事ランキング【年齢帯別】 ~今、習っている習い事~

全年齢帯とも1位は「水泳」、2位は「英語・英会話」。

未就学児では「体操」「リトミック」が高く、高学年になるにつれ学習系が上位に。

(未就学児)【今、習っている習い事ランキング】

(複数回答)

順位	回答率	今、習っている習い事	首都圏順位		首都圏回答率	
			17年	16年	17年	16年
1位	35.9	水泳	1位	1位	35.8	41.1
2位	30.1	英語・英会話	2位	3位	33.0	24.6
3位	22.0	体操	3位	2位	25.5	26.2
4位	12.9	ピアノ	7位	4位	6.6	17.8
5位	10.0	リトミック	4位	5位	11.3	12.9
6位	9.7	学習塾・幼児教室	4位	6位	11.3	11.0
7位	7.1	サッカー	6位	7位	9.4	6.1
8位	4.5	ダンス	8位	9位	5.7	4.5
9位	3.9	バレエ	8位	8位	5.7	4.9
10位	3.6	その他スポーツ	10位	17位	4.7	0.6

(%)

(%)

(%)

回答数 2017年全国N=309 首都圏N=106 2016年首都圏N=309

全年齢帯とも1位は「水泳」、2位は「英語・英会話」。

未就学児では3位に「体操」がランクイン。特筆すべきは「リトミック」で、未就学児でのみトップ5。その後年齢が上がるにつれ、ピアノをはじめ他の音楽系の習い事を始めるきっかけとなっていると考えられる。

小学校低学年・高学年では「書道」「学習塾・幼児教室」「そろばん」といった学習系の習い事が多くランクイン。

学年が上がるにつれ「体操」の順位が下がり高学年でベストテン圏外となるが、「空手」「テニス」「その他スポーツ」など各種目へと多様化していくと考えられる。

※「その他スポーツ」で名前が挙げられている種目例：柔道、陸上、バドミントン、卓球、キックボクシング、少林寺拳法、トランポリン、器械体操、スカッシュ、バレーボール、スケート、フットサルなど。

(小学校低学年)【今、習っている習い事ランキング】

(複数回答)

順位	回答率	今、習っている習い事	首都圏順位		首都圏回答率	
			17年	16年	17年	16年
1位	49.5	水泳	1位	1位	56.0	52.4
2位	25.2	英語・英会話	3位	3位	20.9	25.2
3位	23.6	ピアノ	2位	2位	27.5	26.2
4位	17.2	書道	4位	6位	13.2	10.7
		学習塾・幼児教室	4位	5位	13.2	13.6
5位	11.7	体操	6位	4位	9.9	14.2
		サッカー	7位	6位	8.8	10.7
7位	9.4	そろばん	10位	8位	4.4	6.5
8位	7.4	空手	9位	10位	5.5	5.8
9位	5.8	その他スポーツ	8位	12位	6.6	4.9

(%)

(%)

(%)

回答数 2017年全国N=309 首都圏N=91 2016年首都圏N=309

(小学校高学年)【今、習っている習い事ランキング】

(複数回答)

順位	回答率	今、習っている習い事	首都圏順位		首都圏回答率	
			17年	16年	17年	16年
1位	36.9	水泳	1位	1位	41.1	41.1
2位	27.8	英語・英会話	2位	3位	25.2	25.9
3位	24.3	ピアノ	4位	2位	23.4	26.9
4位	23.3	書道	5位	5位	19.6	12.6
5位	19.1	学習塾・幼児教室	2位	4位	25.2	23.6
6位	12.3	そろばん	6位	12位	9.3	4.9
7位	9.4	サッカー	8位	6位	6.5	11.3
8位	6.5	その他スポーツ	11位	10位	5.6	5.5
9位	5.8	テニス	11位	9位	5.6	7.8
		ダンス	8位	10位	6.5	5.5
10位	5.2	空手	11位	7位	5.6	8.4

(%)

(%)

(%)

回答数 2017年全国N=309 首都圏N=107 2016年首都圏N=309

【参考】2017年 子どもの習い事ランキング【エリア別】

全エリアとも1位は「水泳」。ただし、北海道・東北エリアでの回答率は低く、その分「体操」が回答率を上げている。

全国2位の「英語・英会話」は東海・北陸、中国・四国の回答率が高い。

九州・沖縄では2位に「書道」がランクインと、地域的な特色が存在。

本年度の調査では対象地域を全国に広げたため、エリア別でのランキングの特徴を見てみた。
(一部、回答者数の少ないエリアがあるため参考データ)

1位はいずれのエリアも「水泳」。

ただし、北海道・東北エリアのみ大幅に回答率が低くなっている。特に北海道で学校教育での水泳授業が少ないこと、水泳を習わせるきっかけとなること多い喘息などの気管支疾患が少ないとみられることなどが原因と考えられる。その分、体力づくり目的では「体操」の回答率が他エリアより高くなっているようだ。

2位「英語・英会話」については、東海・北陸、中国・四国、関西圏での回答率が他エリアよりも高い。北関東・甲信越では「サッカー」の回答率が高いほか、ベスト10に「バレエ」「野球」がランクイン。

首都圏では、「学習塾・幼児教育」が4位となっているほか、8位に「バレエ」が入る。

東海・北陸、関西圏では全国に比べ「そろばん」の回答率が高いほか、ベスト10内に「空手」がランクイン。

中国・四国、九州・沖縄では、ベスト10内に「リトミック」がランクイン。

また九州・沖縄では「書道」の回答率が高く、「英語・英会話」「ピアノ」の回答率を上回り2位となっている。子どもの習い事については全国同一の傾向ではなく、エリアごとに特徴があることが読み取れる。

【エリア別】【今、習っている習い事ランキング】(複数回答)

	全国順位	北海道・東北	北関東・甲信越	首都圏	東海・北陸	関西圏	中国・四国	九州・沖縄
1位	水泳	水泳	水泳	水泳	水泳	水泳	水泳	水泳
2位	英語・英会話	英語・英会話	英語・英会話	英語・英会話	英語・英会話	英語・英会話	英語・英会話	書道
3位	ピアノ	体操	ピアノ	ピアノ	ピアノ	ピアノ	ピアノ	英語・英会話
4位	書道	ピアノ	体操	学習塾・幼児教室	書道	書道	書道	ピアノ
5位	学習塾・幼児教室	サッカー	サッカー	体操	学習塾・幼児教室	学習塾・幼児教室	その他スポーツ	学習塾・幼児教室
6位	体操	書道	書道	書道	体操	体操	学習塾・幼児教室	体操
7位	サッカー	そろばん	学習塾・幼児教室	サッカー	そろばん	そろばん	そろばん	サッカー
8位	そろばん	学習塾・幼児教室	バレエ	バレエ	サッカー	サッカー	サッカー	そろばん
9位	その他スポーツ	その他スポーツ	野球	その他スポーツ	空手	ダンス	体操	その他スポーツ
10位	ダンス	ダンス	テニス	ダンス	その他スポーツ	空手	リトミック	リトミック
	空手		そろばん					
回答者数(人)	927	64	58	304	170	173	65	93

※本文中での言及について、全国順位と比較して上位のもの、そのエリアのみランクインしているものについてオレンジで網掛けを施している。

※各エリアにおいて同率の順位のものについては、横罫線を施さずに表記

【今、習っている習い事】エリア別 回答率 (%)

全国順位	習い事名	全国	北海道・東北	北関東・甲信越	首都圏	東海・北陸	関西圏	中国・四国	九州・沖縄
1位	水泳	40.8	25.0	36.2	43.8	40.6	43.4	43.1	38.7
2位	英語・英会話	27.7	20.3	22.4	26.6	34.1	29.5	32.3	21.5
3位	ピアノ	20.3	15.6	19.0	18.8	18.2	24.9	26.2	20.4
4位	書道	14.1	6.3	8.6	11.2	17.1	15.6	15.4	23.7
5位	学習塾・幼児教室	13.5	4.7	8.6	16.8	13.5	15.0	10.8	10.8
6位	体操	12.8	20.3	15.5	14.1	9.4	15.0	4.6	9.7
7位	サッカー	8.6	7.8	12.1	8.2	8.2	9.2	6.2	9.7
8位	そろばん	7.1	6.3	3.4	4.6	8.8	12.1	7.7	5.4
9位	その他スポーツ	5.1	4.7	1.7	5.6	3.5	4.0	12.3	5.4
10位	ダンス	4.3	4.7	0.0	5.3	2.4	6.9	4.6	2.2
	空手	4.3	3.1	1.7	4.3	4.7	6.9	1.5	3.2
	回答者数(人)	927	64	58	304	170	173	65	93

※本文中での言及について、全国回答率よりも高いことを示したものについてはオレンジ、低いことを示したものについてはブルーでアミガケを施している。

【エリア区分】

北海道・東北/北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県 北関東・甲信越/茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・新潟県 首都圏/埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県 東海・北陸/富山県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県 関西圏/滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県 中国・四国/鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県 九州・沖縄/福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

2017年 子どもの習い事ランキング ～今後、習わせたい習い事～

【今後、習わせたい習い事】は、「英語・英会話」が1位。

「書道」「学習塾・幼児教室」「そろばん」「パソコン関連(※)」など、

【今習っている習い事】と比べて学習関連の習い事が上位にランクインする傾向。

【全体】「今後、習わせたい習い事」ランキング (複数回答)

順位	回答率	今後、習わせたい習い事	首都圏順位		首都圏回答率	
			17年	16年	17年	16年
1位	24.9	英語・英会話	1位	1位	25.3	27.9
2位	19.1	水泳	2位	2位	20.7	18.6
3位	14.3	書道	4位	3位	11.2	13.2
4位	10.6	学習塾・幼児教室	5位	6位	10.9	7.3
5位	10.0	そろばん	7位	5位	8.2	8.4
6位	9.3	ピアノ	3位	4位	12.5	9.0
7位	8.0	ダンス	6位	7位	9.2	7.2
8位	6.4	体操	8位	9位	6.9	5.4
9位	4.9	空手	10位	8位	4.6	6.3
10位	3.7	サッカー	9位	13位	6.6	3.0
11位	3.6	パソコン関連(※)	12位	10位	3.3	3.7
12位	2.9	バレエ	11位	14位	3.9	2.9
	2.9	野球	12位	11位	3.3	3.6
14位	2.4	実験教室	14位	12位	3.0	3.5
15位	2.2	剣道	17位	21位	1.6	1.3

(%) (%) (%) (%)
 ※全体N=927 首都圏17年N=304、16年N=297
 ※「パソコン関連(ソフトの使い方やプログラミングなど)」については、見出し・表組内では「パソコン関連(※)」と表記

「今後、習わせたい習い事」については、「今、習っている習い事」とは異なり、「英語・英会話」が全体トップ。小学校低学年・高学年で1位となったのみならず、未就学児でも2位となっている。

「今、習っている習い事」で4位の「書道」は、低学年で英語・英会話に続いて2位となったほか、未就学児でも3位。

さらに、「パソコン関連(ソフトの使い方やプログラミングなど)」は小学校高学年では4位にランクイン。「実験教室」も8位に入っており、高学年の「今後、習わせたい習い事」では学習関連の習い事が順位を上げる結果となった。

現時点では「パソコン関連」を実際に習っている子どもはまだ多くはないが、小学校でのパソコン学習が広がり、家庭でパソコンに触れる環境がなくても、授業での体験を通じてそのおもしろさに気づく子どもが増えるだろう。今後全国的に受け皿となる教室が増加してくれば、特に高学年では「今、習っている習い事」での順位も上昇してくることが予想される。

【未就学児】「今後、習わせたい習い事」ランキング (複数回答)

順位	回答率	今後、習わせたい習い事	首都圏順位		首都圏回答率	
			17年	16年	17年	16年
1位	34.3	水泳	1位	1位	36.8	32.4
2位	29.8	英語・英会話	2位	2位	29.2	30.1
3位	20.7	書道	4位	4位	15.1	13.6
4位	18.4	ピアノ	3位	3位	25.5	17.5
5位	14.2	そろばん	5位	5位	13.2	11.0
6位	12.0	学習塾・幼児教室	5位	9位	13.2	6.1
7位	11.7	ダンス	9位	6位	9.4	10.4
8位	11.3	体操	7位	7位	12.3	8.1
9位	6.1	バレエ	10位	12位	7.5	4.5
10位	5.8	空手	11位	7位	6.6	8.1

(%) (%) (%) (%)
 ※全体N=309 首都圏17年N=106、16年N=309

【小学校低学年】「今後、習わせたい習い事」ランキング (複数回答)

順位	回答率	今後、習わせたい習い事	首都圏順位		首都圏回答率	
			17年	16年	17年	16年
1位	24.6	英語・英会話	1位	1位	27.5	27.8
2位	15.9	書道	2位	2位	15.4	16.2
3位	14.2	水泳	3位	2位	14.3	16.2
4位	12.0	学習塾・幼児教室	4位	5位	13.2	8.4
5位	10.7	そろばん	9位	5位	4.4	8.4
6位	8.4	ダンス	5位	7位	12.1	7.1
7位	7.1	ピアノ	6位	8位	9.9	6.8
8位	6.8	空手	10位	4位	3.3	8.7
9位	5.5	体操	7位	9位	6.6	5.2
10位	4.5	サッカー	8位	14位	5.5	1.9
	4.5	絵画	10位	14位	3.3	1.9

(%) (%) (%) (%)
 ※全体N=309 首都圏17年N=91、16年N=309

【小学校高学年】「今後、習わせたい習い事」ランキング (複数回答)

順位	回答率	今後、習わせたい習い事	首都圏順位		首都圏回答率	
			17年	16年	17年	16年
1位	20.4	英語・英会話	1位	1位	19.6	25.9
2位	8.7	水泳	2位	4位	10.3	7.1
3位	7.8	学習塾・幼児教室	3位	3位	6.5	7.4
4位	7.1	パソコン関連(※)	3位	5位	6.5	5.8
5位	6.5	書道	7位	2位	3.7	9.7
6位	5.2	そろばん	3位	5位	6.5	5.8
7位	3.9	ダンス	3位	7位	6.5	4.2
8位	3.6	実験教室	7位	7位	3.7	4.2
9位	2.3	ピアノ	16位	11位	1.9	2.6
	2.3	体操	16位	10位	1.9	2.9
	2.3	サッカー	7位	17位	3.7	1.6
	2.3	テニス	7位	9位	3.7	3.6

(%) (%) (%) (%)
 ※全体N=309 首都圏17年N=107、16年N=309

2017年 習い事の費用～習い事の数・かかっている費用～

子ども1人・1カ月当たりの習い事の費用は平均1万3091円、習い事数は1.92。

年齢が上がるにつれて習い事の数が増え、費用も上昇していく傾向。

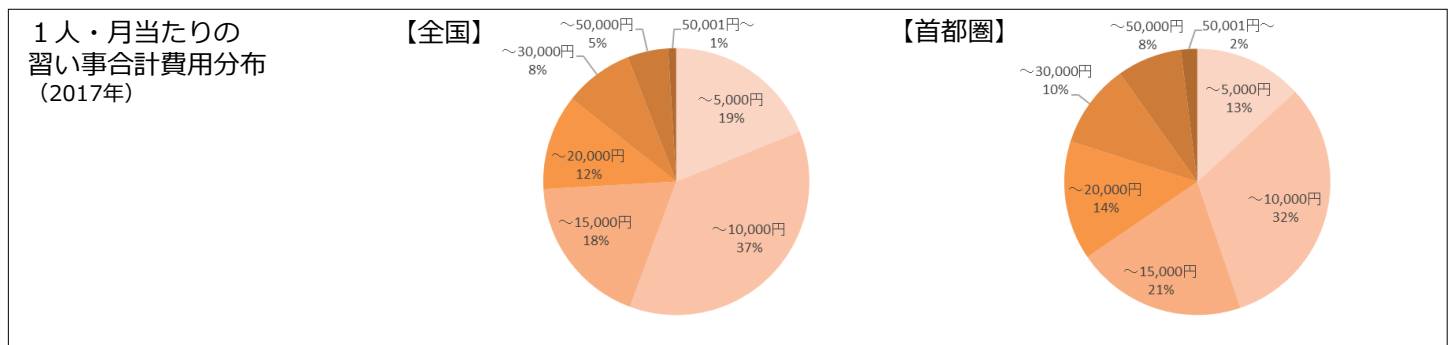
2017年の費用調査では、子ども1人当たりの毎月の合計費用が平均1万3091円、習い事数は1.92。首都圏では全国平均より習い事の数も多く、費用も高い。かつ、前年よりも増加傾向となっている。

また、1人当たりの習い事数、習い事1つ当たりの平均費用、および1人当たりの毎月の合計費用の平均はいずれも、子どもの年齢が上がるにつれて多く・高くなる。年齢の上昇にともなって習い事一つひとつが本格化したり、また情操系やスポーツ系に加えて学習系の実施を増やすといった傾向にあるためと考えられる。

※子どもが実施している習い事の数、毎月の合計費用について単一回答（数値記入）。「用具」「発表会の費用」など不特定の費用は含んでいない。
 ※「毎月の合計費用」の平均値を、「1人当たりの習い事」平均数で割ることで「習い事1つ当たりの平均費用」を算出している。

■子ども1人当たりの習い事数と金額

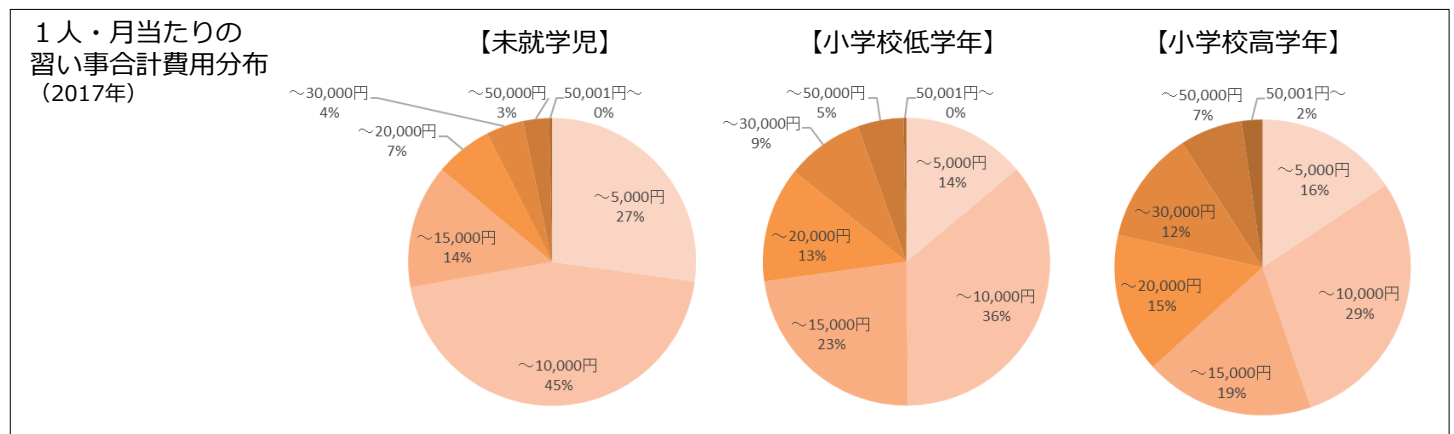
	全国	首都圏		
	2017年	2017年	2016年	2015年
1人当たりの習い事平均数	1.92	2.04	2.01	1.97
1人・月当たりの習い事合計費用	1万3091円	1万6007円	1万4670円	1万4542円
習い事1つ当たりの平均費用	6814円	7836円	7299円	7391円



全国2017年：N=927、首都圏2017年：N=304、2016年N=926、2015年N=617

■子どもの年齢帯別 子ども1人当たりの習い事数と金額

	全体	未就学児	小学校低学年	小学校高学年
1人当たりの習い事平均数	1.92	1.61	2.02	2.14
1人・月当たりの習い事合計費用	1万3091円	9838円	1万3323円	1万6114円
習い事1つ当たりの平均費用	6814円	6129円	6608円	7522円



※N=927 未就学児、小学校低学年・高学年それぞれ：N=309

2017年 習い事費用の捻出方法

4割以上の家庭で、習い事費用は昨年より増加。

子どもの年齢が上がるにつれて、習い事費用に負担感を感じる人も増加する結果に。

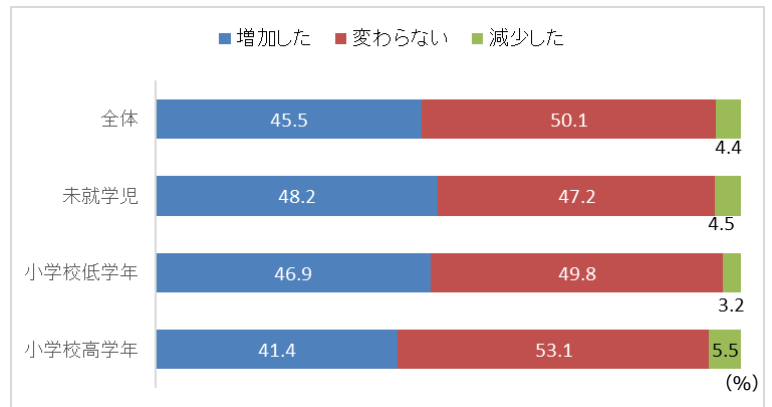
昨年と比べた習い事費用の増減については、半数近くの家庭で「増加」していた。

さらに、習い事費用に負担感を感じる人は、子どもの年齢が上がるにつれて増える結果に。

習い事費用の増加が反映されていると思われる。

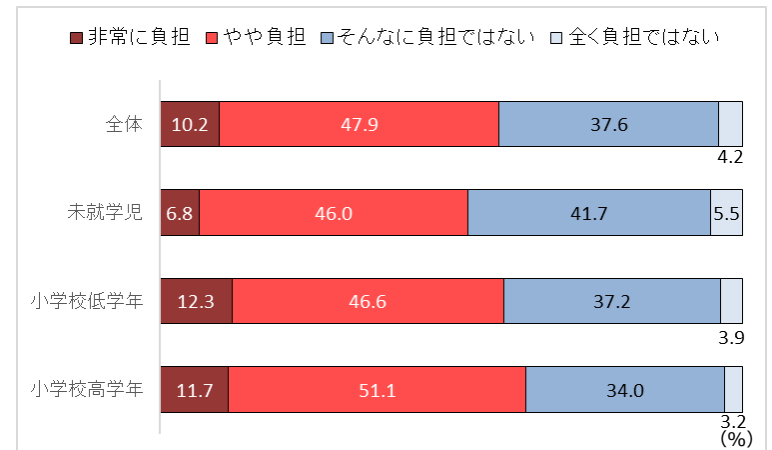
習い事費用の捻出方法としては、「外食費」「ママお小遣い」「被服費」「美容費」が上位となっており、ママの「我慢」が大きな役割を果たしている。

■ 昨年と比べての習い事費用の増減 (単一回答)



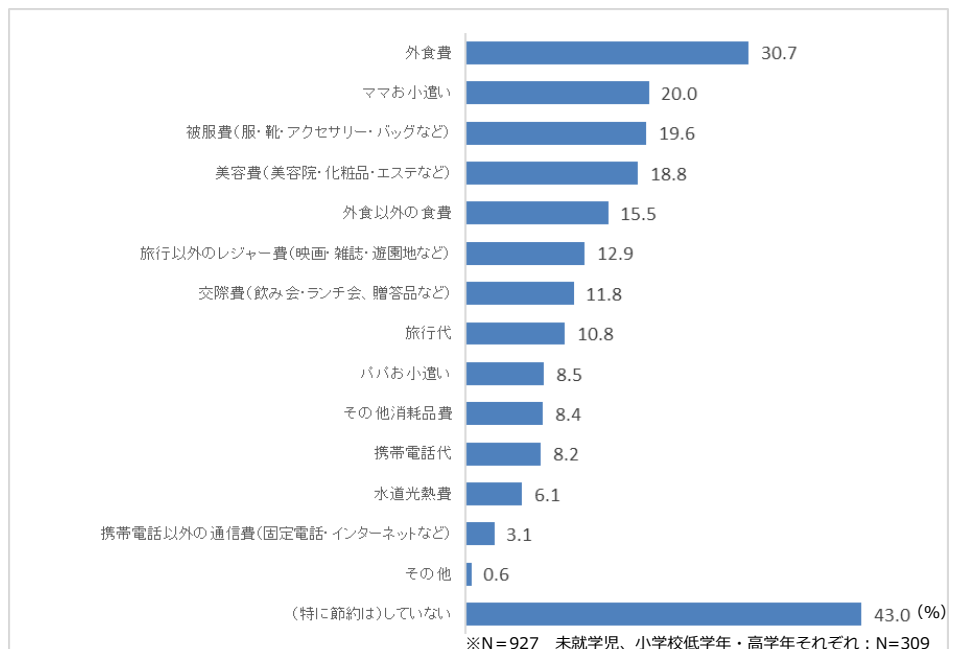
※N=927 未就学児、小学校低学年・高学年それぞれ：N=309

■ 習い事費用の負担感 (単一回答)



※N=927 未就学児、小学校低学年・高学年それぞれ：N=309

■ 子どもの習い事費用の捻出方法 (複数回答)



※N=927 未就学児、小学校低学年・高学年それぞれ：N=309